

団体と行政の協働を推進

6月21日、地域の課題解決に取り組み市民活動団体と原口新五市長が本庁舎で意見交換を行いました。参加は、u.m.a.u. やパルキッツくるめなど8団体。子どもや貧困世帯の支援、災害支援などで見えた課題を共有しました。市長は「さまざまな課題に取り組んでいただき、感謝している。活動の周知など、できる限り協力していきたい」と話しました。



日ごろの取り組みや成果について、活発な意見交換が行われました

「青木展」30年の歴史に幕

7月1日、久留米市美術館で「第7回青木繁記念大賞ビエンナーレ」の表彰式がありました。30年にわたる同展は今回で幕。全国から出品された443点から「MEISAI 27」が最後の大賞に選ばれました。作者の米村太一さん（佐賀県伊万里市）は「思い入れのある作品で栄誉ある賞をいただき、うれしさと同時に背筋が伸びる思いです」と喜びを語りました。



受賞者と主催者のみなさん。大賞をはじめ91点が7月1日から30日まで久留米市美術館で展示

夜市で中心商店街がにぎわう

6月24日から7月29日までの毎週土曜、「第52回久留米ほとめき通り商店街土曜夜市」が開催されました。約100の出店が並び、家族連れなどで大にぎわい。六角堂広場であった開幕式では、日吉小児童の金管バンド演奏が夜市の始まりを盛り上げました。家族で来ていた荒木義昌さん（三潞中1年）は、「楽しみにしていました。射的で景品を取れてうれしかった」と話しました。



かき氷や焼き鳥の販売、金魚すくい、ヨーヨー釣りなどで夏の夜を楽しみました

子ども太鼓で祭りの幕開け

7月16日、久留米シティプラザのザ・グランドホールで水の祭典プレイイベント「子ども太鼓フェスティバル」がありました。12の和太鼓クラブが練習の成果を披露。有馬押太鼓や南筑高太鼓部による模範演奏もありました。水天宮船太鼓リーダーの林友菜さん（京町小6年）は「緊張したけど、上手に演奏できました」と笑顔で話しました。



素早いばちさばきで、迫力のある演奏を披露

薬物乱用の恐ろしさを伝える

6月25日、西鉄久留米駅で薬物乱用防止キャンペーンが行われました。ボーイ・ガールスカウトや保護司会など約100人が参加。道行く人に啓発品を配布して薬物乱用防止を呼びかけたり募金活動を行ったりしました。久留米三井薬剤師会の福元哉史さんは「子どもたちを薬物乱用から守るために、これからも取り組んでいきたい」と話しました。



通りかかった親子からの募金に笑顔。集まった寄付金は国連を通じ、活動に使われます

牧原選手の WBC 功績たたえ

7月4日、久留米市は市出身で福岡ソフトバンクホークス所属の牧原大成選手に「スポーツ功績賞」を贈りました。牧原選手は「2023ワールド・ベースボール・クラシック」に日本代表として出場。世界一へ貢献したことをたたえるものです。福岡ベイペイドームで原口新五市長から表彰された牧原選手は、「市民の皆さんに元氣と勇気を届けられて良かったです」と話しました。



くるっばもホークスのユニホーム姿で参加。牧原選手には副賞として市の特産品などが渡されました

市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

QRコードとアイコンでSNSへのアクセスが簡単です。

- ホームページ
- LINE
- YouTube
- フェイスブック
- Twitter
- Instagram
- くるっば ツイッター
- くるっばぐらむ

「広報久留米」を多言語で

「広報久留米」を無料アプリ「カタログポケット」で配信しています。英語のほか、韓国、中国（繁体字/簡体字）、タイ、ポルトガル、スペイン、インドネシア、ベトナム各言語に自動翻訳と読み上げもします。

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビで KBC を視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大 12 項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・ 広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・ インクルージョンの in 久留米 (土) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン (福岡よしもと)

今月の表紙

牧原選手が田主丸町で炊き出し



7月19日、田主丸総合支所で福岡ソフトバンクホークス所属の牧原大成選手が、大雨の被災者にうどんの炊き出しを行いました。